

IT化促進による 多摩ニュータウン2.0の創出

多摩ニュータウン1.0

- ✓ 日本一の総延長を誇る歩行者専用道路網
- ✓ 緑地面積30%以上
- ✓ 80㎡超は当たり前の広くて丈夫な住宅群
- ✓ 小田急・京王私鉄2線で都心直結(都心1時間圏)
- ✓ 市民活動が活発(※)

※1人口10万人あたりNPO法人数54法人で都内26市で1位(平成22年度)
(東京都は都道府県別で全国1位)

⚠ 高齢化率急上昇

⚠ 若者世代の流出

⚠ 専業主婦前提の
地域コミュニティ

近年の動向

昼夜人口の逆転

昼夜人口比率1.01

在宅勤務の常態化



通勤時間短縮(※)

小田急永山→新宿 38分(朝ピーク時間帯)
新宿→京王永山 29分(夕ピーク時間帯)

本アイデアによる施策

1. 個人・団体へのIT導入・活用支援の仕組みづくり
2. IT導入支援そのものを多世代交流のきっかけとする施策
3. 多摩ニュータウンの魅力を引き出す「スマート団地」実現に向けた取り組み
4. 地域情報の発信
5. 会合・講演会・ワークショップ等の地域団体のオンライン化支援
6. 多摩市若者会議による地域で若い世代が活躍でき・自分のやりたいことにつなげられる「場」づくり



多摩市の協力のもと多摩市社会福祉協議会と共催したスマートフォン教室(2021年6月)

実現方法

- 1.2.5. 多摩市地域委員会構想モデルエリアの取り組み等で**合同会社MichiLab(※)**が**実践中の**取り組みを発展、有償化も含む持続可能な仕組みへ
3. 地域イベントのオンライン対応など実践中、2022年8月に団地共用部での実験を開始予定。
4. 多摩市若者会議と合同会社MichiLab(※)が協働し、多摩市の協力のもと、地域情報のインターネット掲載とスマホ向け配信の実験を進めていく。
多摩市の街並み共有プロジェクト(COG2019ファイナリストアイデア)等継続中。
6. 2017年から5年目を迎える「多摩市若者会議」の取り組みの継続と発展

※多摩市若者会議の活動の継続と発展を目的に2020年に同実行委員の総意で設置した法人。
2020年度より多摩市若者会議の運営を多摩市から受託し運営している他、多摩市若者会議が2019年にクラウドファンディングで開設したMichiCafe(COG2018ファイナリストアイデア)を運営している。

多摩ニュータウン2.0(新しい世代の地域コミュニティ)の実現へ



<https://tamayouth.jp>



<https://www.michilab.co.jp>

